

京都教育センター

公開学習会

昨年(2019年)の12月15日に教育基本法が強行改悪されて半年が経過しようとしています。この間、改悪ステージのもとで新たな教育統制と競争管理をシフトした国民不在の教育議論が展開され、新学期早々の4月24日には46年ぶりの「全国一斉学力テスト」が「粛々と」実施されてしまいました。

今国会には教育3法案が上程されており、「教員免許更新制度」「賃金格差に連動した教職員評価」「学校選択制の拡大」などが画策されています。コロコロ変わる「学習指導要領の改訂」も日程に上っています。

思いつきの素人論議を重ねる教育再生会議に子どもと教育は託せない！
こうした子ども・父母・教職員をとりまく新たな困難を導く情勢下で、すべての子どもたちの生き生きとした豊かな発達を願う立場からどう立ち向かうのか、議論を深める機会として企画しました。

どなたでも参加できます。(参加費:資料代として300円)

6月9日(土) 13:00~16:30

教文センター101号 (京阪丸太町下車東へ5分)

**講演 『改悪「教基法」以降の新たな教育統制施策に
どう立ち向かうか』 八木 英二(滋賀県立大学)**

【報告】I. 「4・24学力テストの問題点ととりくみの総括」 深澤司(京教組教文部長)

II. 「60年代の学力づくり実践と学力テスト問題」 淵田悌二(元中学校教師)

【特別発言】今回の学力テスト中止の仮処分を求め

提訴された父母より

主催: 京都教育センター [T&F 075-752-1081]

<http://www.kyoto-kyoiku.com>

kyoto-kyoiku@asahi-net.email.ne.jp